

公表 所における自己評価結果

事業所名		公表日 年 月 日				
ふたば市原						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	多機能型のため、年齢や疾患を考慮し配置を決めている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもが安心して過ごせる環境になっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)が実施されているか。	5	1		看護師中心のためほかのスタッフと協力が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	業務ミーティングを毎日行っている。意見を取り入れ、業務改善を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	意見を取り入れ、業務改善を行っている	今後検討したい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施しているか。	6	0	動画研修を活用し、スタッフ全員が必ず受講できるように工夫している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を考慮した支援計画を作成しているか。	6	0	子どもの特性、ニーズを聴取したうえで個別支援計画に反映させている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者の承認を得ているか。	5	1		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		共有が不十分などところもあるため、計画を共有していく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っているか。	6	0		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援活動の計画」を参考に、児童発達支援活動の計画を立てているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		毎朝のミーティングで決めている。月間プログラムを組んでいない。今後プログラムの立案も検討したい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか。	5	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援内容を確認しているか。	5	1	毎朝ミーティングを行い、役割と支援について確認をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援内容を確認しているか。	6	0	支援内容や、保護者からの希望等その都度スタッフで共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に役立てているか。	6	0	毎日支援内容の記録、医療ケア内容の記録をつけいつでも振り返ることができるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要があるか。	6	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との連携を図っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育等と連携を図っているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進に取り組んでいるか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との連携を図っているか。	4	2		開所したばかりで移行した児童がいない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて支援しているか。	4	2		関係機関との連携もし始めたばかり。今後さらに連携を深めたい

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ	5	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状態	6	0	日々、保護者と密に連絡を取り合い情報共有をしている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ	6	0	家族会に案内し、家族が参加できる研修や、情報共有の場を設けている	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を	5	1	契約時にすべて説明と同意を得ている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に	6	0	お迎え時などに家族と話す時間を取り悩みや、困りごとについて聞き、一緒に解決できるよう支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等に。	6	0	家族会(みつば)への参加を案内している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用すること	6	0	ホームページ、Instagramを活用	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運	6	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、	6	0	防災訓練、情報伝達訓練、引き渡し訓練を実施	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認	6	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対	6	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要	6	0		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	5	1	虐待防止委員会を設置し、研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	6	0		